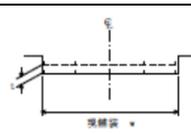
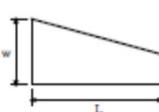


出来形管理基準規格値 (単位mm)

番 号	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
			個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X <sub>10</sub> )			
第1章 一般施工 第6節 一般舗装工	1-6-7	アスファルト舗装工	基準高▽	±50	—	基準高は延長40m毎に1ヶ所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎に1ヶ所を掘り起して測定。幅は、延長80m毎に1ヶ所の割に測定。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X <sub>10</sub> ) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。
	1-6-8	半たわみ舗装	厚 さ	-45	-15		
	1-6-9	排水性舗装	幅	-50	—		
	1-6-12	コンクリート舗装 コンクリート舗装 (転圧コンクリート版工)					
	1-6-13	薄層カラー舗装工					
	1-6-14	ブロック舗装工 (下層路盤工)					
	1-6-7	アスファルト舗装工	厚 さ	-30	-8	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは各車線200m毎に1ヶ所を掘り起して測定。	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X <sub>10</sub> ) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。
	1-6-8	半たわみ舗装	幅	-50	—		
	1-6-9	排水性舗装					
	1-6-12	コンクリート舗装 コンクリート舗装 (転圧コンクリート版工)					
	1-6-13	薄層カラー舗装工					
	1-6-14	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工					
1-6-7	アスファルト舗装工	厚 さ	-30	-8	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、下記の割でコアを採取もしくは掘り起して測定。  150～300m <sup>2</sup> N=1 個 300～2000m <sup>2</sup> N=3 個 2000m <sup>2</sup> ～ N=3個+1000m <sup>2</sup> に1個の割合	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X <sub>10</sub> ) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
1-6-8	半たわみ舗装	幅	-50	—			
1-6-9	排水性舗装						
1-6-13	薄層カラー舗装工						
1-6-14	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工						
1-6-12	コンクリート舗装 コンクリート舗装 (転圧コンクリート版工) (セメント (石灰) 瀝青) 安定処理工	厚 さ	-30	-8	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、下記の割でコアを採取もしくは掘り起して測定。  150～300m <sup>2</sup> N=1 個 300～2000m <sup>2</sup> N=3 個 2000m <sup>2</sup> ～ N=3個+1000m <sup>2</sup> に1個の割合		
		幅	-50	—			
1-6-7	アスファルト舗装工	厚 さ	-20	-5	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、下記の割合でコアを採取し計測。  150～300m <sup>2</sup> N=1 個 300～2000m <sup>2</sup> N=3 個 2000m <sup>2</sup> ～ N=3個+1000m <sup>2</sup> に1個の割合	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X <sub>10</sub> ) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
1-6-8	半たわみ舗装	幅	-50	—			
1-6-9	排水性舗装						
1-6-11	ガスアスファルト舗装工						
1-6-13	薄層カラー舗装工						
1-6-14	ブロック舗装工 (上層路盤工) 加熱アスファルト安定処理工						
1-6-7	アスファルト舗装工	厚 さ	-12	-3	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、下記の割合でコアを採取し計測。  150～300m <sup>2</sup> N=1 個 300～2000m <sup>2</sup> N=3 個 2000m <sup>2</sup> ～ N=3個+1000m <sup>2</sup> に1個の割合	厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X <sub>10</sub> ) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。  コア採取について 路面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	
1-6-8	半たわみ舗装	幅	-25	—			
1-6-9	排水性舗装						
1-6-11	ガスアスファルト舗装工						
1-6-13	薄層カラー舗装工						
1-6-14	ブロック舗装工 (基層工)						

出来形管理基準規格値 (単位mm)

番 号	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
			個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X <sub>10</sub> )			
第1章 一般施工 第6節 一般舗装工	1-6-7	アスファルト舗装工	厚 さ	-9	-2	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、下記の割合でコアを採取し計測。</p> <p>150～300m<sup>2</sup> N=1 個 300～2000m<sup>2</sup> N=3 個 2000m<sup>2</sup>～ N=3個+1000m<sup>2</sup>に1個の割合</p>	<p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X<sub>10</sub>) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> <p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>
	1-6-8	半たわみ舗装	幅	-25	-		
	1-6-9	排水性舗装	平坦性	3mプロフィールメータ 標準偏差 (σ) 2.4mm以下			
	1-6-11	ゲースタアスファルト舗装工		直読式 (足付き)			
	1-6-13	薄層カラー舗装工  (表層工)		標準偏差 (σ) 1.75mm以下			
1-6-12	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	厚 さ	-12	-3	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、下記の割合でコアを採取もしくは掘り起こして測定。</p> <p>150～300m<sup>2</sup> N=1 個 300～2000m<sup>2</sup> N=3 個 2000m<sup>2</sup>～ N=3個+1000m<sup>2</sup>に1個の割合</p>	<p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X<sub>10</sub>) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
		幅	-25	-			
1-6-12	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	厚 さ	-10	-3.5	<p>厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線200m毎に水系又はレベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ所以上測定、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割で測定。平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。 なお、スリップフォーム工法の場合は、厚さ管理に関し、打設前に各車線の中心付近で各車線200m毎に水系又はレベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ所以上路盤の基準高を測定し、測定打設後に各車線200m毎に高測の版盤を測定する。</p>	<p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X<sub>10</sub>) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
	幅	-25	-				
	平坦性	3mプロフィールメータにより 機械舗設の場合： 標準偏差(σ) 2.4mm以下 人力舗設の場合： 標準偏差(σ) 3mm以下					
		目地段差	隣接する各目地に対して道路中心線及び端部で測定 ±2				
1-6-12	コンクリート舗装工 転圧コンクリート版工 (アスファルト中間層)	厚 さ	-9	-3	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、下記の割合でコアを採取もしくは掘り起こして測定。</p> <p>150～300m<sup>2</sup> N=1 個 300～2000m<sup>2</sup> N=3 個 2000m<sup>2</sup>～ N=3個+1000m<sup>2</sup>に1個の割合</p>	<p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X<sub>10</sub>) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	
		幅	-25	-			
1-6-12	コンクリート舗装工 転圧コンクリート版工	厚 さ	-15	-4.5	<p>厚さは、各車線の中心付近で型枠据付後各車線200m毎に水系又はレベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ所以上測定、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割で測定、平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。</p>	<p>厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X<sub>10</sub>) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	
	幅	-35	-				
	平坦性	転圧コンクリートの硬化後、3mプロフィールメータにより標準偏差(σ)2.4mm以下。					
		目地段差	隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定 ±2				
1-6-10	透水性舗装工 (路盤工)	基準高 ▽	±50	-	<p>基準高は片側延長40m毎に1ヶ所の割合で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1ヶ所掘り起こして測定。 幅は、片側延長80m毎に1ヶ所測定。</p> <p>※歩道舗装に適用する。</p>	<p>コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	
	厚 さ	t < 15cm	-30	-10			
		t ≥ 15cm	-45	-15			
		幅	-100	-			
1-6-10	透水性舗装工 (表層工)	厚 さ	-9	-3	<p>幅は、片側延長80m毎に1箇所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1個コアを採取して測定。</p> <p>※歩道舗装に適用する。</p>		
		幅	-25	-			
1-6-15	路面切削工	厚 さ	-7	-2	<p>厚さは40m毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。延長40m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。測定方法は自動横断測定法によることが出来る。</p>		
		幅	-25	-			
1-6-16	舗装打換え工	路盤工 舗設工	幅 W	-50	各層毎1ヶ所/1施工箇所		
			延長 L	-100			
			厚さ t	該当工種			
			幅 W	-25			
			延長 L	-100			
		厚さ t	該当工種				

出来形管理基準規格値 (単位mm)

番 号	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
			個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X <sub>10</sub> )			
第1章 第6節 一般舗装工	1-6-17 オーバーレイ工	厚さ t		-9	厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、延長80m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることができる。		
		幅 w		-25			
		延長 L		-100			
		平坦性	3mプロフィールメータ 標準偏差 (σ) 2.4mm以下 直読式 (足付き) 標準偏差 (σ) 1.75mm以下				